

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

Service News サービス・ニュース

館内貸出のiPadで「東京新聞電子版」が読めるようになりました

館内貸出のiPadで閲覧できる新聞に「東京新聞」が加わりました。

- 記事をすばやく拡大縮小できるビューアーで、印刷版と同じ紙面をそのまま閲覧していただけます。
- 当日分はもちろんのこと、1ヵ月分のバックナンバーが閲覧可能です。
- 過去5年間の記事が検索できます。

引き続き、「朝日新聞デジタル」「日本経済新聞電子版」もご利用いただけます。

閲覧ご希望の場合は、iPadご利用のお申込み時にお申し付けください。
※iPadの台数には限りがあります。ご了承ください。

6月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン **「徳川家康 天下泰平の夢」** (～9/18) **NEW!**
家康公四百年忌となる今年、彼について書かれた資料文献を展示し、故人を偲ぶと共に、戦国乱世から天下泰平の世を夢見たその物語をご紹介します。

■ **特別展「ルドゥーテ「美花選」展」** 関連展示 (三角台、～6/19)

3F グリーンゾーン **「デザイン、ものづくり、日本」** (～6/12)
「日本らしいモノの形」とは何なのかをテーマに、日本の風土に基づいたものづくりや身の回りの製品デザインの歴史と新しい動きについて展示しています。 **CHECK!**

3F ホール **「展覧会カタログの魅力」** アート情報支援コーナー 関連展示 (～7/18) **NEW!**
「徳川家康 天下泰平の夢」 関連展示 **NEW!** (ガラスケース、～9/18)

わたしの一冊 当館スタッフの推薦本をご紹介します。図書フロア 大門 恵

告白 町田康 著

実際に起きた大量殺人事件「河内十人斬り」がモチーフの長編小説。主人公・熊太郎は思考と言葉が一致せず思ったことをうまく伝えることができない。それが原因で世の中に溶け込めず、散々な目に遭います。なにをするにも不器用で人間臭い熊太郎に日頃の自分を重ねてしまいます。中盤までは…。

中央公論新社 / 2005年

熊太郎は明瞭な思考を備えながらも、飛び出す言葉が幼稚で支離滅裂。鬱屈とした熊太郎の人生を軽妙洒落な文章で描く。

ZONE PICK UP! **3F ブルーゾーン** **「時」** ~8/14
【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

「時」

今日という日はなぜ戻ってこないのでしょうか。そして、私たちはなぜ歳をとるのでしょうか。時間の存在について、考えれば考えるほど謎は深まります。この展示では、そんな不思議な「時間」について物理学、哲学、芸術、文学など、様々な観点から本を紹介し、深遠な時の世界に迷い込んでみてはいかがでしょうか。

◀ 夏に向かって日が長くなるこの季節、時間の使い方を考える良い機会かもしれません。「時間活用術」についての本も集めましたので、参考にどうぞ！

CHECK! **3Fホール ガラスケース** ~6/12
「デザイン、ものづくり、日本」 関連展示

グリーンゾーンの展示「デザイン、ものづくり、日本」にあわせて、これからの季節には欠かせない、昭和初期に使用されていた「ハエ取り棒」や「蚊遣り豚」などを展示しています。懐かしいかたち、見たことのないかたちをお楽しみください。
(千代田区教育委員会所有)

◀ 置物にもなりそうな、美しいフォルムの「ハエ取り瓶」(複製版)。

日比谷カレッジ報告

「不思議の国のアリス」刊行150周年記念講演会
— 英語学者と旅する不思議の国 —

■ 講師：安井泉 (筑波大学名誉教授、日本ルイス・キャロル協会会長)

今年で刊行から150年を迎えた「不思議の国のアリス」の魅力、物語としての奥行き、作者ルイス・キャロルの生い立ちや物語が作られた時代の背景、ディズニーのアニメとの違い、そして作中の「ことば」や文章の面などから多角的に解説していただきます。ほぼ満席の客席には男性客も多く、熱心に聞き入っている様子が印象的な講座でした。

▲ 2階図書フロアの講座関連展示をご覧になる安井先生

4/22 (水)

NEW **日比谷でアート情報を知る** 3階ブルーゾーン アート情報支援コーナー リニューアル



「美術館」に行く **「図録」を観る** **「展覧会」を楽しむ**

日比谷図書文化館のある千代田区、そして近隣にはさまざまな美術館があります。オリジナルMAPを制作し掲示していますので、来館の折に寄り道計画を立ててみてはいかがでしょうか。また各地で開催中の展覧会のポスターやチラシで情報をチェックしたり、美術館ガイドなどと併せて身近にアートを感じられる場所を是非探してみてください。

過去に開催された展覧会カタログを収集し、開催館ごとに並べています。現在の所蔵は150館以上、約1000タイトル。開架書庫にもありますので、お探しのものがあれば2階カウンターまでお尋ねください。3階ホールでも図録を展示中です。

■ 「千代田区と近隣の美術館・博物館オリジナルMAP」がダウンロードできるようになりました。
http://hibiyal.jp/hibiya/museum_map.html

■ **「千代田区と近隣の美術館・博物館オリジナルMAP」**がダウンロードできるようになりました。

■ **「千代田区と近隣の美術館・博物館オリジナルMAP」**がダウンロードできるようになりました。

■ **「千代田区と近隣の美術館・博物館オリジナルMAP」**がダウンロードできるようになりました。

calendar 開館時間：平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2015年6月							2015年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>

access

都営地下鉄
● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
● 丸ノ内線 東京メトロ
● 丸ノ内線 霞ヶ関駅B2出口 徒歩3分
● 千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
● JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

6・7月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。
「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

6/14(日) ピースビレッジ第32回 21世紀型組織「学習する組織」を創るリーダーシップとは

講師：熊平 美香(クマヒラセキュリティ財団代表理事)

今、前例のない問題の解決法を自ら見出す組織「学習する組織」を創るリーダーが増えています。複雑な問題解決を迫られる21世紀は、システム思考で物事を俯瞰し、構造的に捉える力と、新しい視点を自らのものにする力が不可欠です。そのリーダーシップについて考えていきます。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時：6月14日(日)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：3000円

<次回予告>

7月4日(土)14:00～16:30

ピースビレッジ第33回「マインドフルネス・リーダーシップ～マインドフルネスによるリーダー、組織の変容」

6/17(水)他 『不思議の国のアリス』刊行150周年記念 英語学者とまなぶアリスの教室

講師：安井 泉(筑波大学名誉教授、日本リス・キャロル協会会長)

『不思議の国のアリス』でキャロルが表現した世界は、ことばに隠された含蓄や奥行きをもって広がり、言語学的にも文化的にも驚くほど立体的です。第1回は「ことば」を手がかりに、第2回は「テニエルの挿絵」を手がかりにして、キャロルの世界をお話しします。



定員に達した為
受付を終了しました。

- 日時：第1回 6月17日 「ことばを手がかりにキャロルの世界へ」 第2回 7月15日(水) 「テニエルの挿絵も手がかりにキャロルの世界へ」 いずれも19:00～20:45(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：各回40名 ■参加費：各回1500円

6/18(木) 世界の図書館シリーズ 第4回<ドイツ> 図書館での教育活動とは何か? これからの公共図書館の課題、マンハイム市立図書館の実例に即して

講師：ベルント・シュミット・ルーエ(マンハイム市立図書館長)

外国人住民の比率が高いドイツのマンハイム市の市立図書館は、市民教育活動、多言語対応、読書支援などに力を入れ、学校と密接に協力して活動しています。館長がその取り組みと、将来の展望を語ります。(主催：ドイツ文化センター/千代田図書館/日比谷図書文化館)



- 日時：6月18日(木)18:30～20:30(18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：無料

6/25(木) これだけは知っておきたいインド経済 モディノミクスとインド経済の将来展望

講師：絵所 秀紀(法政大学経済学部教授)

昨年5月に誕生したモディ政権に世界の注目が集まっています。本講座ではインド経済が直面している克服すべき課題は何か?そしてこうした諸課題に対してモディ政権はどのような戦略を打ち出しているのか?をとりあげていきます。



写真提供：公益財団法人日印協会

- 日時：6月25日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

6/25(木) 逆境で学ぶ(全3回) 第2回 私のゴルフいっぽん道、そして賞金女王へ

講師：古閑 美保(プロゴルファー)、吉井 妙子(ジャーナリスト)

トップアスリートの人生観から学ぶ全3回講座。第2回は人気・実力を兼ね備えた美人女子ゴルファーの代表格である古閑美保氏をお招きし、華やかな競技人生の裏で抱いていた葛藤や決断について、ジャーナリスト吉井妙子氏との対談形式で伺います。(主催：上廣倫理財団)



古閑 美保

- 日時：日時：6月25日(木)18:30～20:00(18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
- 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

<第3回予告> 7月29日(水)『美しい『体操ニッポン』の源流』
講師：富田 洋之(アテネ五輪体操金メダリスト)(5月25日申込受付開始)

6/30(火) 展覧会への入口講座vol.15 東京藝術大学大学美術館×日比谷図書文化館 「ヘレン・シャルフベックの人生と芸術」展覧会をより楽しむために

講師：佐藤 直樹(東京藝術大学美術学部芸術学科准教授)

フィンランドを代表する画家ヘレン・シャルフベック(1863-1946)は、3歳で階段から落ち、生涯杖を放せなくなってしまいます。しかし、絵の才能を見い出され、パリ留学を果たす幸運に恵まれます。帰国後、一気に花開いたパリでの経験を中心に展覧会の見どころを紹介します。



《快復期》

- 日時：6月30日(火)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

1888年 油彩・カンヴァス
フィンランド国立アテネウム美術館
Ateneum Art Museum,
Finnish National Gallery/
Hannu Aaltonen

7/1(水) 第32回江戸歴史講座 徳川家康没後400年記念 江戸城と江戸のまちづくり

講師：波多野 純(日本工業大学学長)

江戸は、天正18年(1590)の徳川家康関東入国から大きく発展し、18世紀には世界一の大都市となった。江戸城そして江戸のまちづくりを、それを担った人々に焦点をあて、絵画・復原模型・図面などから読み解く。



- 日時：7月1日(水)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

7/2(木) たくましい伝統 —インテリアデザインにおける革新事例とこれからのビジョン

講師：立川 裕大

(株式会社t.c.k.w代表取締役、伝統技術ディレクター・プランナー)

日本各地の伝統技術の活動領域を、最新のインテリアデザインの世界に拡張した純国産プロジェクト「ubushina」を手掛ける立川氏。CLASKA、パレスホテル、ペニンシュラ、スカイツリーなどで実績を残す講師の10年余りの足跡をたどりながら、多角的な要素を踏まえたこれからの伝統技術のビジョンを語ります。



- 日時：7月2日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

7/8(水) 菅谷明子講演会 米国メディア激変に見る社会に不可欠な情報とは

講師：菅谷 明子(在米ジャーナリスト)

ソーシャルメディアで大きく変化する米国メディアの「今」をご報告いただきます。情報の価値、報道のあり方や必要性、報道組織、ジャーナリズムの人材育成、そしてメディアリテラシーの高い市民をどう育てるかを眺め、日本のメディア、市民そして図書館は何かができるかを考えます。



- 日時：7月8日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円(学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

7/17(金) 千代田区民講座 楽しい歌舞伎雑学

講師：金田 栄一(歌舞伎座舞台株式会社 顧問)

歌舞伎は、役者を中心としたエンターテインメントで、工夫を凝らした究極の娯楽です。観客にアピールして、観る者を飽きさせない舞台機構、時代を先取りした隈取のアイデア、衣装の色だけでわかる役柄や、究極の言葉遊びの外題などなど、ユニークな雑学の宝庫「歌舞伎」について存分に語っていただきます。(主催：NPO法人神田雑学大学)



- 日時：7月17日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：無料

※6月5日(金)千代田区民受付開始。区民以外は6月12日(金)から受付開始。

7/22(水) 図書館建築を読む 第2回「資本主義と図書館」

講師：桂 英史(東京藝術大学大学院教授)

宗教改革は本(聖書)の絶対性(単一性)を解体し、本は豊かさを運ぶメディアとなりました。出版は人々の精神生活を大きく変え、さらに資本主義を導きました。「図書館建築を読む」(全4回講座)の第2回では、印刷革命の側面から図書館について見ていきます。(協力：河出書房新社)



- 日時：7月22日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円

<第3回予告>

9月30日(水)「知の要塞化というモダニズム」(7月22日申込受付開始)

7/22(水) 他者を動かすコミュニケーションのあり方

講師：河村 亨(株式会社富士ゼロックス総合教育研究所シニアコンサルタント)

一般的に組織の戦略や方針は、「理解」「納得」「実行」「定着」という段階を経てその実行度を高めていきますが、多くの場合「正しい理解、すらできていません。そこで、営業部門の事例を題材に(部下や他部門など)他者を動かすためのコミュニケーションのあり方をこれまでになく視点で解き明かします。



- 日時：7月22日(水)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円

古文書塾 てらこや 体験講座

体験講座 各回1000円

初心者から経験者まで楽しみながら学習を進める古文書塾てらこやの7月期特別講座です。

- 日時：6月19日(金)～ 「体験講座」全6講座 順次開講
- 会場：4階 セミナールーム
- 定員：各23名(申込順)
- 問合せ：電話(03-3502-3340)古文書塾担当
- 参加費：各1,000円



古文書塾 てらこや

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	6/23
	江戸を楽しむ一続・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	6/25
	青木昆陽に江戸を読む —蘭学者の東西ネットワーク	(金) 13:30～	6/19
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	6/27
	幕臣成島柳北の日記を読む —若き儒臣からみる幕末事情 その二	(土) 14:00～	6/27
	【翻字育成講座】ハーバード大学美術館蔵「源氏物語 蜻蛉」を読む	(木) 18:30～	6/25

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示

100年後も手に取れる本に～内田嘉吉文庫修復報告～

▶開催中～6月14日(日)

(左から)「A new pocket dictionary of the Portuguese and English languages in tow parts 2」[Paris et ses environs]



「臨時休室のお知らせ」ご利用していただける皆様により快適に過ごしていただくために、空調設備の増設工事を実施いたします。それに伴い、下記期間、特別研究室・特別研究席は休室いたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしく願います。

■期間：6月15日(月)～18日(木)4日間(ただし15日は休館日)

ポモージュ広報室より

ご好評いただいている「ルドゥーテ「美花選」展」の会期も残りわずかとなりました。繊細優美で色あせない美しさはマリーアントワネットやジョゼフィーヌだけではなく日本の女性も魅了しているようです。日比谷公園のバラも見ごろを迎えています。是非、一緒に。6月19日(金)まで

